大学･高専機能強化支援事業（支援２：高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）
【大学　一般枠、特例枠】実施状況報告書

選定年度	令和5年度	学校コード	F135210110089	改組内容	研究科等の設置・増員（一般枠）
大学名	山陽小野田市立山口東京理科大学	設置区分	公立	事業計画名	山陽小野田市立山口東京理科大学 工学研究科数理情報科学専攻の新設
学校種	大学	都道府県	山口		

1.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画（上欄：研究科等の設置等及びその準備（設置認可申請等）、下欄：教育環境の整備（施設整備、教員採用等）、教育活動の充実等の取組）と取組状況及び自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
令和5年度	【情報系組織の入学定員】 <修士課程> 工学研究科　工学専攻（情報科学分野）　　：１名 <博士後期課程> 工学研究科　工学専攻（機械電気情報分野）：２名□	【設置認可申請又は届出等】 7月 工学研究科　数理情報科学専攻（修士課程）設置届出	令和5年度自己評価	【３】計画を十分に実施している。
	●工学研究科　数理情報科学専攻　修士課程 ①人材育成の目的、3つのポリシーの作成（4月） ②授業科目、教育課程の作成（5月） ③授業概要、シラバスの作成（6月） ④文部科学省に届出（8月） ⑤学生募集を開始（9月）	●工学研究科　数理情報科学専攻　修士課程 ①人材育成の目的、3つのポリシーの作成（4月） ②授業科目、教育課程の作成（5月） ③授業概要、シラバスの作成（6月） ④文部科学省に届出（7月24日） ⑤学生募集を開始（10月）	大学院工学研究科数理情報科学専攻について４月から人材育成の目的、３つのポリシーの策定に取組み、授業科目やシラバス等を学内で協議し、決定を行い7月24日に文部科学省に届出を行い9月20日付けで受理の報告があった。その後、10月18日に専攻の設置に関する記者会見を行った。 今年度の事業計画については概ね順調に履行した。	
令和6年度	<修士課程> 工学研究科数理情報科学専攻を設置　入学定員：１５名 （情報系分野の定員増減：１名→１６名に増加）	<修士課程> 工学研究科数理情報科学専攻を設置　入学定員：１５名 令和６年度入学者数　２名	令和6年度自己評価	【３】計画を十分に実施している。
	●工学研究科　数理情報科学専攻　修士課程 ⑥設置・授業開始（4月） ⑦イノベーションコモンズ整備（3月） ⑧デザインシンキングスペース整備（9月） ⑨サーバー室増設・保守運営（3月） ⑩教育環境整備（3月） ⑪研究室整備整備（3月） ⑫教材作成（3月） ●工学研究科　数理情報科専攻　博士後期課程 ⑬人材ニーズの調査（3月）	●工学研究科　数理情報科学専攻　修士課程 ⑥設置・授業開始（4月） ⑦イノベーションコモンズ整備（3月） ⑧デザインシンキングスペース整備（9月） ⑨サーバー室増設・保守運営（3月） ⑩教育環境整備（3月） ⑪研究室整備整備（3月） ⑫教材作成（3月） ●工学研究科　数理情報科専攻　博士後期課程 ⑬人材ニーズの調査（3月）		
令和7年度			令和7年度自己評価	【３】計画を十分に実施している。
	●工学研究科　数理情報科学専攻　修士課程 ⑭授業開始（4月） ⑮サーバー室保守運営（4月） ⑯教材作成（4月） ●工学研究科　工学専攻　博士後期課程（増員） ⑰文部科学省に学則変更を届出（7月） ⑱人材育成の目的、3つのポリシーの見直し（8月） ⑲授業科目、教育課程の作成（8月） ⑳学生募集を開始（10月） ㉑授業概要、シラバスの作成（12月） ㉒研究環境整備（3月）	●工学研究科　数理情報科学専攻　修士課程 ⑭授業開始（4月） ⑮サーバー室保守運営（4月） ⑯教材作成（4月） ●工学研究科　工学専攻　博士後期課程（増員） ⑰文部科学省に学則変更を届出（12月） ⑱人材育成の目的、3つのポリシーの見直し（6月） ⑲授業科目、教育課程の作成（7月） ⑳学生募集を開始（1月） ㉑授業概要、シラバスの作成（1月） ㉒研究環境整備（3月）		
令和8年度	<博士後期課程> 工学研究科工学専攻を増員　入学定員：３名 （情報系分野の定員増減：２名→５名に増加）		令和8年度自己評価	リストから選択してください。
	●工学研究科　数理情報科学専攻　修士課程 ㉓授業開始（4月） ㉔サーバー室保守運営（4月） ㉕教材作成（4月） ●工学研究科　工学専攻　博士後期課程（増員） ㉖変更・授業開始（4月） ㉗研究環境整備（3月）			
令和9年度			令和9年度自己評価	リストから選択してください。
令和10年度			令和10年度自己評価	リストから選択してください。
令和11年度			令和11年度自己評価	リストから選択してください。
令和12年度			令和12年度自己評価	リストから選択してください。
令和13年度			令和13年度自己評価	リストから選択してください。
令和14年度			令和14年度自己評価	リストから選択してください。

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	山陽小野田市立山口東京理科大学

２.申請資格の確認

ⅰ） 学生募集停止中の大学
ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
ⅲ） 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反」が付されている大学
ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の○の項目に該当している）

申請資格の状況	ⅰ）	ⅱ）	ⅲ）	ⅳ）	ⅴ）
すべての項目に該当していない					

３.申請要件の取組状況

① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、学部を置かない大学や新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。

② 志願者数の状況や入学定員及び収容定員充足率等を踏まえた十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。）

④ 特定成長分野のうちデジタル分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

⑤ 計画の対象となる研究科・専攻等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

⑥ 特定成長分野のうち情報系分野に係る研究科、専攻、コース等の設置・増員（研究科、専攻の定員の増員を伴わないものを含む。）、専攻に係る課程の変更（研究科、専攻、コース等の設置・増員及び専攻に係る課程の変更に伴う学部、学科、コース等の設置・増員（学部、学科の定員の増員を伴わないものを含む。）を含む。）（以下「研究科等の設置等」という。）による体制強化の計画であること。なお、コース等の設置・増員による体制強化の場合は、学則において、コース等の募集人員数を明記する計画であること。

⑦ 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る研究科等の設置等の取組であること。

⑧ 教育の実績を有する既設の情報系分野に係る研究科、専攻（授与する学位が、学位種類分野変更基準に定める理学関係、工学関係又は農学関係のいずれかを学位の分野として含むものに限る。）を有する大学において、高度情報専門人材を育成する計画であること。（大学（特例枠）については、既設の情報系分野に係る学部、学科（授与する学位が、学位種類分野変更基準に定める理学関係、工学関係又は農学関係のいずれかを学位の分野として含むものに限る。）を有する大学とする。）

⑨ 機構による事業計画の選定があった日から２年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる研究科等の設置等を行う計画であること。

⑩ 計画の対象となる研究科等の設置等において、大学院修士課程（博士前期課程を含む。）15名以上又は大学院博士課程（博士後期課程を含む。）５名以上の入学定員の増員を行う計画であること。

⑪ 国立大学について、大学全体の収容定員の増員を伴う学部定員の増員を行う場合は、国立大学法人の第５期中期目標期間終了時までに他学部・他学科を中心に同規模の定員減を行う計画であること。

⑫ 教員の確保・配置状況等を踏まえた実現可能性の高い計画になっていること。

⑬ 文部科学省が実施する数理・データサイエンス・ＡＩ教育プログラム認定制度における「応用基礎レベル」について、大学又は計画の対象となる学部若しくは計画の対象となる研究科に関連する主な学部が認定を受けている、又は認定を受ける計画があること。なお、学部を置かない大学で、本認定制度の対象に該当しないものについては、本要件は適用されない。

⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑫の申請要件について、　令和7年度　の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の○の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
右の○の要件を満たしていない		○										

①～⑫の要件を満たしていない又は対象でない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）
②	令和８年度入試では、説明会の開催や企業訪問、本学卒業生への周知など積極的な募集活動を行った結果、入学定員15名に対して14名の入学者を確保したものの、定員充足には至らなかった。 社会人コースを設置している専攻であることから、志願者層が限定される中で、進学ニーズの掘り起こしや出願につながる継続的な情報発信が課題となっている。そのため、志願者のさらなる確保に向けて、広報・募集活動の一層の強化を図る必要がある。

⑬,⑭については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件⑬,⑭について	現在の状況
⑬文部科学省が実施する数理・データサイエンス・ＡＩ教育プログラム認定制度における「応用基礎レベル」について、大学又は計画の対象となる学部若しくは計画の対象となる研究科に関連する主な学部が認定を受けている、又は認定を受ける計画があること。なお、学部を置かない大学で、本認定制度の対象に該当しないものについては、本要件は適用されない。	認定を受けている
⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

４.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度　の取組実績及び申請時の計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

① 地域において自治体や企業等と連携した取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
本計画では、自治体や企業等と連携した課題解決型学習(PBL)や探求型学習(fieldwork)を行う。既に、本学は、産官学の連携による「DX協創プラットフォーム」を形成し、「協創データ活用によるスマートシティ推進事業」に取り組んでいる。健康寿命延伸のため、市民にスマートウォッチを貸与して健康データを取得し、本学がデータを分析し、その結果を保健指導に役立てる「スマートシティ・データ連携基盤」を構築する事業が進行しており、順次、行政データ、健康診断データ、公共交通データ、国保データ、地域コミュニティデータと連携し拡張する。本計画は、これらの取組みを発展させ、スマートシティデータ連携基盤に蓄積される情報と市内の有用な要素をデジタルツインとして構築する。出生率を始めとする目的変数に応じ、人口、医療、保育、教育、産業、インフラ、空家等についてデジタル空間でシミュレーションを行い、バックキャスト的アプローチにより、フィジカル空間である地域社会の再設計を考案し提案する「デジタルツインDX・AI教育」を目指す。150人程度の匿名化された小規模集団から構築を始め、行政と連携しマイナンバーカードのデータと紐づけながら集団全体のパイを拡大する。ここで得られたデータは、データサプライチェーンとしての様々な業種でのデータ活用が見込まれる。	本学では、本格的な課題解決型学習（PBL）や探究型学習（Fieldwork）の実施に向けて、山陽小野田市や関係企業等と連携し、「協創データ活用によるスマートシティ推進事業」に取り組んでいる。山陽小野田市では、「スマイルエイジング（健康寿命の延伸）」を推進しており、デジタル機器から収集される健康データを活用することで、市民一人ひとりの状態に応じた健康づくりを進めている。本学においても、行政と連携したデータ活用・分析体制を構築し、分析結果を市の施策へ活用することで、より効果的な行政サービスの提供や市民生活の質の向上を目指している。 昨年度に続き、「スマートウォッチを活用した健康づくり事業」では、市民へスマートウォッチを貸与し、歩数、消費カロリー等の健康データを収集した。現在は、収集したデータについて、入力状況の確認や参加者ごとのデータ整理など、分析に向けた前処理を進めている。今後は、整理したデータを用いて、歩数や消費カロリー等の行動指標の変化と、体重などの健康状態との関連について分析を行う予定である。これにより、スマートウォッチの活用が健康寿命の延伸にどのように寄与するかを検討していく。 また、新たな取組として、山陽小野田市生活安全課空き家対策室と連携し、市内の空き家データ整備を進めている。特に、大学周辺地域や行政が再開発を進めている地区を対象として、空き家の実態把握を行うとともに、デジタル技術を活用したデータ解析による地域課題解決に取り組んでいる。 これらの取組を通じて、本学は地域と連携した実践的な教育研究を推進するとともに、データ活用による地域課題の解決とスマートシティの実現に貢献していく。	

② 初等中等教育段階の学校との連携に関する取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
本学は、山陽小野田市内の小学校(11校)、中学校(6校)・高校(4校)と、大学・大学院までの市内一貫教育、教育支援、生涯学習支援及び進学支援を協力して行うことを目的に、山陽小野田市、市教育委員会、市内高校と「包括連携教育・協力に関する協定」を締結している(令和2年)。文部科学省の「GIGAスクール構想」により、市内の小学校・中学校・高校に1人1台ずつタブレット端末が配布されたことを受け、市内のICT学習環境を活用して本学と市内4高校をオンラインで繋ぎ、Moodle(Web支援)、Miro(Web黒板)、ICT端末(タブレット、電子黒板)を駆使して、大学生と高校生が一緒にICTアクティブ・ラーニングを行う共同授業「ニューノーマル時代の高大連携授業」を令和4年に実施した。今後、数理情報科学専攻では、山陽小野田市をまるごとデジタルツイン化し、小・中・高校生がバーチャル空間で主人公になり、デジタルツイン・テクノロジーによるSociety5.0の世界を体験する取組みを行う。仮想空間の市内で、健康・医療、環境・防災、産業・観光など市の課題に沿って未来を予測し、児童・生徒の自発的な「なぜ」、「どうして」を引き出し、試行錯誤しながら課題に立ち向かう「探求心」を育てる教育により、未来の「デジタルツインDXデータサイエンティスト」を地域で養成する。	本学が山陽小野田市、市教育委員会、市内高校と令和2年度に締結した「包括連携教育・協力に関する協定」に基づき、山陽小野田市内の小学校(11校)、中学校(6校)・高校(4校)と、大学・大学院までの市内一貫教育、教育支援、生涯学習支援及び進学支援を協力して行っている。取組の一つとして、昨年に続き令和7年8月、市内の小中高の理系教員に対してリカレント・セミナーを実施した。今回は、「これからの理科教育の在り方」とのタイトルで、簡単な演習を混じえながら講演を行い、研究協議（グループワーク）では、本学共通教育センター教員のサポートの元、これまでの授業実践を生かしながら「これからの理科の授業改善はどうあればよいか」について、校種毎の課題などを共有しながら議論を進め、校種毎の教員の相互理解と、小学校から高等学校そして大学へと繋がる理科教育の支援を行った。 また、今年度は、市内の小学校と連携しプログラミング教育（2026年2月、場所：出合小学校）を実施した。本実習では、microbitによる事前準備を十分に行った上で、全児童にmicrobitを配布し、主体的に学べる授業構成のもとにデジタル教育を展開した。授業では数理情報科学科の学生を中心に、理科の学習内容とプログラミングを組み合わせた体験的な学習活動を紹介した。実習では、学生が積極的に児童を支援しながらmicrobitの電気回路の組み立てを行い、機器をプログラムで動かす実験を通して学習内容の理解を深めるとともに、児童の興味・関心を引き出すことを目的とした授業が行われた。その結果、児童は意欲的に活動に取り組み、活発な学びの場となった。本取り組みは、大学と小学校との連携による実践的な教育活動として、児童・学生にとっても難易度の高い課題に立ち向かう「探求心」を育てる有意義な学習機会となった。 また教育におけるデジタルツイン化としては、VRによる中間発表会を行いその基盤構築や有効性の検討を行っている。	

③ 女子学生、社会人学生、留学生等の確保に向けた特色ある取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
女子中高生やその保護者へのデジタル分野に対する興味関心や理解を深める取組みを推進し、女性の活躍状況とキャリアアップ・デザインを可視化する広報を行う。本学、近隣大学、企業で構成する「やまぐちダイバーシティ推進加速コンソーシアム」と連携し、女性デジタル技術者のロールモデルを学ぶセミナーを行い、女子学生に対するキャリア教育の充実を図る。また、女子枠入試の実施、女子寮の整備を行うとともに、保育所を設置して子育て中の女性も安心して学べる環境を整備する。本学が設置する薬学部では女子の入学比率が高く(約60%)、本専攻のデジタル創薬分野への入学者を確保し、ジェンダード・イノベーションを加速する。本学では、令和4年度に文部科学省「DX等成長分野を中心とした就職・転職支援のためのリカレント教育推進事業」に採択されており、学び直しの機会として社会人対象のリカレント教育プログラムを一層拡充して地域全体における「多様な知」の循環を促進する。さらに、山口県が設置する海外拠点と連携し、山口県内企業の進出拠点が多く形成される東南アジアを中心に、現地の大学生に本専攻の魅力を伝え、留学を促す取組みを行うとともに、外国人留学生寮の整備、留学生対象の授業料減免、教育補助者としてのフェローシップの取組を行う。	女子中高生やその保護者へデジタル分野の興味関心や理解を深める取組みとして、８月のオープンキャンパスにてデジタル分野の体験や研究紹介を行った。本学、近隣大学、企業で構成する「やまぐちダイバーシティ推進加速コンソーシアム」でのセミナーに加え、山口大学、宇部高専、企業と連携した「DAI(Diversity×AI)ラボ」を基盤にし、女性のキャリアやワークライフバランスについての意識醸成を行った。入試制度としては、令和７年度入試における推薦入試において女子枠の実施及び社会人入試、外国人入試を実施した。山陽小野田市に複合施設「Aスクエア」内に女子寮の整備が完了し、令和６年４月より供用を開始した（本専攻の女子学生１名が入居）。社会人学生の確保に向け、個別での企業訪問や説明会を実施するとともに、地域の金融機関や製薬企業とは更に情報交換を深めながら、社会人のリカレント及びリスキリングの必要性並びに本専攻の魅力を伝えた（令和6年10月～令和7年12月）。外国人留学生入試の出願資格を一定の日本語能力を有する者としたため、留学を促す取組みとして開催された外国人留学生 大学・専門学校進学フェアへ参加や、留学生への学生寮の案内、留学生対象の授業料減免、留学生交流会等のフェローシップを実施した。さらに、国際交流センター長を主軸とした「国際共同グローバル人材育成プログラム」を実施し、本学学生と海外の大学生とのネットワーキングによるグローバルコミュニケーション能力、多文化理解・対応能力を見据えた学生の育成を行った。サンシャインコースト大学（豪州）との協定締結を見据え、令和7年11月、本学学長、国際交流センター長ほか関係者が同大を訪問し、会談を実施した。その後、まずは語学力養成として、豪州所在の語学学校との間で協力に関する覚書（MOU)を締結した。	

④ 他の大学（外国大学を含む。）・高等専門学校等と連携した取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
山口大学、宇部高専、企業と連携した「DAI(Diversity×AI)ラボ」により、AI技術の活用についての理解を促進し、組織・分野・立場の枠を越えて多様な研究者が集い、アイデアを交換・共創することにより異分野融合研究チームの形成を行う。また、東京理科大学と連携し、社会に不足するデジタル人材を輩出する仕組みを構築する。令和4年度から文部科学省「DX等成長分野を中心とした就職・転職支援のためのリカレント教育推進事業」に両大学が連携して申請しており、応用基礎的なDX分野の能力を育成しリスキリングの推進、キャリアアップに繋げる取組を行っている。また、本学は、MOTに強みを持つ東京理科大学、インベストメント・マネジメント社、イノベーション・キャピタル社の4者で、学生の起業家教育とスタートアップ支援に関する連携協定を締結することで合意している。さらに、アントレプレナーシップを醸成する教育、新しい技術が持つ可能性を見極めて事業に結びつけることで経済的価値を創出する技術経営教育に取組むとともに、革新的な技術シーズを有する東京理科大学と連携したオープン型地域スタートアップを加速する。	大学・高専・企業等との連携事業としては、「DAI（Diversity×AI）ラボ」にて開催されるイベント（座談会、女性向けワークショップ）の周知を実施したが、令和７年度は、主としては以下のような他の地域連携事業の取組みを展開した。 山口県内の大学・高専等で構成される「大学リーグやまぐち（データサイエンス教育ワーキンググループ）」において、県内高等教育機関と連携したデータサイエンス教育用の共通教材作成を実施するなど、地域におけるデータサイエンス教育の充実に向けた取組みを推進した。 MOTに強みを持つ東京理科大学との連携については、学生の起業家教育、スタートアップ支援及びアントレプレナーシップ醸成の推進を目的とした連携協定（令和５年５月締結）に基づく取組みを推進した。具体的には、本学の技術シーズに係る市場価値評価を依頼したほか、大学発ベンチャー認定制度において、審査体制の強化のために東京理科大学イノベーション・キャピタル株式会社の専門家を外部委員として委嘱した。なお、令和7年度に、本学初となる大学発ベンチャー（AI分野）を１件認定した。また、広島大学PSI（Peace & Science Innovation Ecosystem）に参画し、中四国地域の大学等との連携強化を進めた。令和８年５月には、本学を会場として「PSI起業サポートセミナー」を開催し、地域におけるアントレプレナーシップ教育及びスタートアップ支援に関するネットワーク形成を推進した。	

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	山陽小野田市立山口東京理科大学

指摘事項等に対する対応状況を記載してください。

年度	区分	指摘事項等	対応状況
令和7年度	実施状況報告書指摘事項	R7 年度収容定員充足率が 0.40（工学研究科数理情報科学専攻）と著しく低くなっている。より効果的な改善策を新たに講じる等、収容定員の更なる充足に努めること。	令和８年度入試について、令和６年度同様、入試区分ごとに、対面・オンラインを併用した複数の説明会の開催（３回）、県内企業等への周知活動（34事業所）、市役所への協力要請などの募集活動を実施した。加えて、本学卒業生に対しても同窓会組織を活用した周知活動を行い、出願促進に努めた。また、社会人を対象とした給付型の奨学金制度の実施を継続した結果、入学定員15名に対して14名（推薦入試：3名（学部卒業生）、一般入試：2名（学部卒業生）、社会人特別選抜：9名（社会人））が入学した（令和８年度入学定員充足率0.93倍）。

大学名	山陽小野田市立山口東京理科大学	改組内容	研究科等の設置・増員（一般枠）

本事業対象となる研究科等の個数	1

１.本事業対象となる情報系組織の状況

１－１.博士課程

<内訳>

(1)

改組組織名	工学研究科工学専攻

		年度		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
		改組状況		選定			増員															
大区分	小区分	項目	単位																			
	事業計画に定める定員	入学定員	人	2	2	2	5	5	5													
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	2	2	2	5															
		入学者数	人	0	1	0	0															
		女子学生数	人	0	0	0	0															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	0	0	0	0															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	2	2	2	5	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	0	1	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	0	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	0	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.00	0.50	0.00	0.00			-	-				-	-		-	-	-		
	収容定員等	収容定員(C)	人	6	6	6	9															
		在籍者数(D)	人	1	2	1	1															
		収容定員充足率（D/C）	倍	0.17	0.33	0.17	0.11			-	-				-	-		-	-	-		
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	0	1	0	-			-	-				-	-		-	-	-		
		就職者数	人	0	1	0	-															
		進学者数	人	0	0	0	-															
		その他	人	0	0	0	-															
		進路不明	人	0	0	0	-															
	大学院博士課程	満期退学者数	人	0	1	0																
		学位取得者数	人	0	1	0																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	6	6	6	9															
		授業科目の単位数	単位	0	0	0	0															

大学名	山陽小野田市立山口東京理科大学	改組内容	研究科等の設置・増員（一般枠）

本事業対象となる研究科等の個数	1

１.本事業対象となる情報系組織の状況

１－２.修士課程

<内訳>

(1)

改組組織名	工学研究科数理情報科学専攻

		年度		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
		改組状況		選定・届出	開設																	
大区分	小区分	項目	単位																			
	事業計画に定める定員	入学定員	人	-	15	15	15	15	15													
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	15	15	15															
		入学者数	人	-	2	10	14															
		女子学生数	人	-	2	1	1															
		社会人学生数	人	-	0	8	9															
		留学生数	人	-	0	0	0															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	15	15	15	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	-	2	10	14	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	-	2	1	1	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	-	0	8	9	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	-	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	0.13	0.67	0.93	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	15	30	30															
		在籍者数(D)	人	-	2	12	24															
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	0.13	0.40	0.80	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	-	-	2	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	
		就職者数	人	-	-	1																
		進学者数	人	-	-	1																
		その他	人	-	-	0																
		進路不明	人	-	-	0																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	7	7	6															
		授業科目の単位数	単位	-	24	24	27															

大学名	山陽小野田市立山口東京理科大学	改組内容	研究科等の設置･増員（一般枠）

２.情報系組織の状況

２－１.博士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度 選定	R6年度	R7年度	R8年度 増員	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	2	2	2	5															
		入学者数	人	0	1	0	0															
		女子学生数	人	0	0	0	0															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	0	0	0	0															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	2	2	2	5	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	0	1	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	0	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	0	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.00	0.50	0.00	0.00			-	-				-	-			-	-		
	収容定員等	収容定員(C)	人	6	6	6	9															
		在籍者数(D)	人	1	2	1	1															
		収容定員充足率（D/C）	倍	0.17	0.33	0.17	0.11															
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	0	1	0	-															
		就職者数	人	0	1	0	-															
		進学者数	人	0	0	0	-															
		その他	人	0	0	0	-															
		進路不明	人	0	0	0	-															
	大学院博士課程	満期退学者数	人	0	1	0																
		学位取得者数	人	0	1	0																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	6	6	6	9															
		授業科目の単位数	単位	0	0	0	0															

大学名	山陽小野田市立山口東京理科大学	改組内容	研究科等の設置･増員（一般枠）

２.情報系組織の状況

２－２.修士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度 選定	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	15	30	45	45															
		入学者数	人	31	26	52	47															
		女子学生数	人	2	5	14	6															
		社会人学生数	人	0	0	8	9															
		留学生数	人	0	1	2	0															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	15	30	45	45	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	31	26	52	47	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	2	5	14	6	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	0	8	9	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	0	1	2	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	2.07	0.87	1.16	1.04			-	-				-	-			-	-		
	収容定員等	収容定員(C)	人	30	45	75	90															
		在籍者数(D)	人	48	58	81	98															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.60	1.29	1.08	1.09			-	-				-	-			-	-		
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	15	28	2	-															
		就職者数	人	14	28	1	-															
		進学者数	人	1	0	1	-															
		その他	人	0	0	0	-															
		進路不明	人	0	0	0	-															
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	10	17	17	11															
		授業科目の単位数	単位	1	30	31	27															

大学名	山陽小野田市立山口東京理科大学	改組内容	研究科等の設置･増員（一般枠）

2.情報系組織の状況

2－3.学士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度 選定	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	60	60	60	60															
		入学者数	人	62	64	70	62															
		女子学生数	人	8	11	15	17															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	0	0	0	0															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	60	60	60	60	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	62	64	70	62	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	8	11	15	17	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	0	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.03	1.07	1.17	1.03			-	-				-	-			-	-		
	収容定員等	収容定員(C)	人	60	120	180	240															
		編入学定員	人	0	0	0	0															
		在籍者数(D)	人	62	125	195	255															
		編入学者数	人	0	0	0	0															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.03	1.04	1.08	1.06			-	-				-	-			-	-		
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	-	-	-																
		就職者数	人	-	-	-																
		進学者数	人	-	-	-																
		その他	人	-	-	-																
		進路不明	人	-	-	-																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	5	5	32	30															
		授業科目の単位数	単位	15	35	63	67															

大学名	山陽小野田市立山口東京理科大学	改組内容	研究科等の設置・増員（一般枠）

３.大学全体の状況

３－１.博士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	3	8	8	11															
		入学者数	人	0	7	5	7															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員（A）	人	3	8	8	11	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数（B）	人	0	7	5	7	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.00	0.88	0.63	0.64			-	-				-	-			-	-		
	収容定員等	収容定員（C）	人	9	14	19	27															
		在籍者数（D）	人	3	8	12	19															
		収容定員充足率（D/C）	倍	0.33	0.57	0.63	0.70			-	-				-	-			-	-		

３.大学全体の状況

３－２.修士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	15	30	45	45															
		入学者数	人	31	26	54	47															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員（A）	人	15	30	45	45	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数（B）	人	31	26	54	47	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	2.07	0.87	1.20	1.04			-	-				-	-			-	-		
	収容定員等	収容定員（C）	人	30	45	75	90															
		在籍者数（D）	人	48	58	81	98															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.60	1.29	1.08	1.09			-	-				-	-			-	-		

大学名	山陽小野田市立山口東京理科大学	改組内容	研究科等の設置･増員（一般枠）

３.大学全体の状況

３－３.学士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	380	420	420	420															
		入学者数	人	407	449	450	443															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員（A）	人	380	420	420	420	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数（B）	人	407	449	450	443	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.07	1.07	1.07	1.05			-	-				-	-			-	-		
	収容定員等	収容定員（C）	人	1,620	1,710	1,780	1,880															
		編入学定員	人	0	0	0	0															
		在籍者数（D）	人	1,636	1,774	1,889	1,997															
		編入学者数	人	6	4	4	5															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.01	1.04	1.06	1.06															

４.外部資金の状況（全学）

項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
外部資金獲得額	千円	902,661	702,969	188,232																

特記事項

・1-1.博士課程の(1)の集計から、情報系組織ではない工学研究科工学専攻（物質･材料分野）の値は除外している。
・3-3.学士課程 の「収容定員等」「編入学定員数」は若干名である。